

# 第 22 回牛久 Cup 参加報告書

開催日:2007 年 1 月 20 日(土)@牛久総合運動公園

1 月 21 日(日)@神谷小

1 月 20 日(土) :予選 1 試合目 vs 向台小:1 - 2

得点者:岸 圭介(湊 )

アシスト者:佐藤 永規(佐野):CK

Formation:3 4 2 1

GK:藤本(田彦)

DF:鬼沢、岸(湊 )、大内将(佐野)

MF:樗木、二川、山田(湊 )、大和田(田彦)、

2ndTop:大野、佐藤永(佐野)

FW:多田(津田)

6 年生の大会で有る為に、アッロチを速く行ない、強い当りで自由にパスを出させないこと。攻撃ではできるだけ少ないタッチでボールをつなぐ事を試合前に指示しました。

ゲームへの入り方は各選手のアッロチが速く強い為に良かったと思われます。これにより中盤でボールを奪うことが出来、序盤はこちらのペースで展開できました。

前半 5 分にはそれまで右サイド樗木、大野のドリブル中心攻めでしたが、左サイドの速いパス回しから二川 大和田 大野とつなぎ GK との 1 対 1 の決定機を作りました。しかしシュートが惜しくも外れて先制できず。

その反面、攻撃が前掛りになると MF - DF 間にスペースが出来てしまい、そのスペースからボールを繋がれて前半 8 分と 10 分に連続 2 失点しました。この DF MF のスペースを埋めるべく山田と相場(湊 )を交代させ、相場には DF 前のスペースを埋める事を指示して再度我々のペースに持ち込むことが出来ました。

後半も上手い試合運びで進める事ができ後半 5 分に佐藤(CK) 岸へ良いボールが入り、ヘディングシュートで得点(1 - 2)。

極度な疲労を選手に与えない事、及びアッロチが遅くならない事を目的に早めに大和田 根本(佐野)、二川 砂押(高野)、樗木 弓削(津田)を順じ交代して対応しました。

特に交代出場した相場、根本がよく、攻守に渡ってゲームをコントロールでき、弓削もトップ下選手を上手く消す事ができました。後半決定機も作れましたが簡単にシュートを打たせてはくれず結果は 1 - 2 の敗戦

予選 2 試合目 vs 阿見 FC:0 - 0

Formation:3 4 2 1

GK:藤本(田彦)

DF:鬼沢、岸(湊)、大内将(佐野)

MF:樗木、山田、相場(湊)、根本(佐野)、

2ndTop:大野(佐野)、大和田(田彦)

FW:多田(津田)

予選 1 試合目の反省点として、攻撃面守備面でのチャレンジ and 加力が出来ていない事を指示しました。

阿見 FC に右サイドと中央に大きな選手がおり、この 2 選手が長い距離からシュートを打つことで試合序盤から相手ペースで進みました。しかし MF の選手は小柄ながら、この 2 選手に強いアプローチをかけて次第に中盤での潰しあいになりました。

攻撃に関しては中盤での潰しあいの為に、MF 選手から FW にボールが繋がらず 1 試合目と同じ様には決定機を作れませんでした。

後半には中盤での速いボール回しを行なう目的で樗木 石井(勝倉)、山田 砂押(高野)の交代をしました。石井、砂押が入る事でボールを FW に供給する事が増えましたが、FW での貯めが出来ない為に、DF ラインの裏に飛び出すだけの単調な攻撃になってしまいました。

それでも少ない決定機には積極的にゴールを狙いシュートを放っておりましたが、ハイエリアでの阿見 FC 守備が良く単独でのシュートを放つ機会ができませんでした。

終了間際には何本か DF ラインの裏にスルースが通されましたが、GK 藤本の飛び出しとその裏の加力リングを大内将が行い、ゴールライン間際の頑張りで何とか無失点で引き分ける事が出来ました。

予選結果は 1 分 1 敗で阿見 FC と並びましたが、1 試合目岸圭介選手の得点で阿見 FC を上回り 2 位トナメントに進む事が出来ました。

## 2 位トナメント 1 回戦 vsFC 郷州:0 - 3

Formation:3 - 4 - 2 - 1

GK:藤本(田彦)

DF:鬼沢、岸(湊)、大内将(佐野)

MF:樗木(湊)、佐藤永、根本(佐野)、大和田(田彦)

2ndTop:大野(佐野)、瀬谷(勝倉)

FW:多田(津田)

予選日の試合とは異なり試合の入り方が不味く、左サイドにいる足の速い MF 選手の 2 列目からの飛び出しに MF、DF 共について行く事が出来ずに、前半 0 分、3 分、5 分と連続失点してしまいました(3 点目は OFF side 臭い失点でした)。中盤での守備が薄くなっているものあり連続失点後に佐藤 相場(湊)を交代させ中盤でのバランスを良くした結果、連続失点後から盛り返しはじめました。

また鬼沢と樗木の左サイド選手への対応もよくなり、連続失点中のように簡単には FW に配

給させない対応もできました。

予選日同様に根本、相場が中盤で厳しいアプローチをし、MFでは大和田、2ndTopでは瀬谷が貯めをつくり、また大野も効果的にラインの裏に飛び出し、FW多田もこぼれ球を狙えるような決定機も出て来ました。

後半も更に決定機が増え、CKで大和田からの大内将のヘディングシュートもありましたが、僅かに枠を捕らえる事ができませんでした。

試合が進み決定機はつくれるものの得点を奪えることが出来ず0-3での敗戦となりました。

ルントリ-マッチ vs ELF SC A:0-0

Formation:3-4-2-1

GK:藤本(田彦)

DF:鬼沢、岸(湊)、大内将(佐野)

MF:樗木、相場(湊)、根本(佐野)、砂押(高野)

2ndTop:会沢(平磯)、瀬谷(勝倉)

FW:大久保(田彦)

トナメントとは変わりこの試合での入り方はよく前半から中盤での厳しく守備ができ、会沢と樗木のコンビネーションで右サイドを崩してから中央の大久保にボールを繋げることで決定機をつくれました。

但し、シュートの精度が悪くGKの正面でボールを抑えられる事が殆んどでした。

後半には相場 富川(田彦)、根本 武田(津田)、瀬谷 山田(湊)、鬼沢 大内貴(平磯)を投入しましたが、戦力がダウンすることがなくボールポゼッションが高いままゲームを進める事ができました。

特にDFに投入した大内貴は状況判断が素晴らしく右サイドで突破される事が有りませでした。攻撃側では後半も樗木 会沢のコンビからサイドを崩してクロスゲートをあげて山田の体を張ってのシュートもボールが良すぎて触る事ができず無得点に終わりました。

また後半終了間際にこの試合で唯一の1対1ピンチもGK藤本の飛び出しによるBig saveでELFを完封できました。(こちら決定機6回をすべて得点できず完封されました)

### 試合後考察

現5年生トセンチームは全体的に身体も小さくフィジカルに弱い欠点もあり、今回の牛久 Cup は相当な苦戦を強いられると思っておりましたが、試合が進むにつれてこの欠点を補って余りあるDF-MF-FW全選手の頑張りあればこそその善戦であったと思います。

参加チームの中で5年生のみの構成で参加したチームはトセン以外に無く、他チームからも素晴らしいチームであるとお褒めのお言葉を頂きました。

またトセン結成当時に個人技だけでなく、パス技術向上を目指し指導してきました。更には近年第4種においてもフィジカルを前面に押し出して守備をするチーム多く、試合ともなると中盤で

の早いパス廻しとチャレンジ and 加-が必須となっており、練習にもアポイント付でのタッチ限定によるパス精度向上を目指した事が今回の善戦に繋がったとも考えております。

但し、善戦はしても勝ちきるとい点では難しい一面も感じ取れ、今後はシュート精度の向上も含め指導していきたいと思っております。

以上

ひたちなかトセ第5学年コーチ 富田教夫